

「ずっと、この日常が続くと思ってた——」

【難民カフェスペシャル】

マイスマールランド[®]上映会

会場 サロン・ド・アマント天人
大阪府大阪市北区中崎町1-7-26 2階

2023年
6月20日(火)

参加費1500円（カレー・チャイ付き、難民カンパ500円を含む）

第1部開場 15:45 上映 16:00~ 感想交流会 18:00~18:30

第2部開場 18:45 上映 19:00~ 感想交流会 21:00~21:30

定員 各回30名（右のQRコードより要予約）

☆上映後に、入管問題や、日本のクルド人難民の実態の解説、
そして実際に日本で暮らすアフリカ難民の方のお話を予定しています。

<あらすじ>

幼い頃から日本で育った17歳のクルド人・サーリヤ。

ある日、家族の難民申請が不認定となり、これまでの日常が一変する。

埼玉に住むサーリヤは、進学のため父に黙って始めたバイト先で出会った、
東京の高校に通う聡太と自由に会うこともできなくなる……。

© 2022「マイスマールランド」製作委員会

参加申し込みフォーム

第1部

第2部



共催：NPO法人RAFIQ 難民との共生ネットワーク、サロン・ド・アマント天人
アムネスティ・インターナショナル日本・関西連絡会



● 難民ってどんな人？

「難民条約」によれば、
人種、宗教、国籍、特定の社会的集団の構成員であること、政治的意見を理由に、迫害を受けるという“恐れ”を抱き、国外に避難し、母国政府から保護を受けることができず、かつ本人もそれを望まない人びとと定義される。

● 日本の難民問題

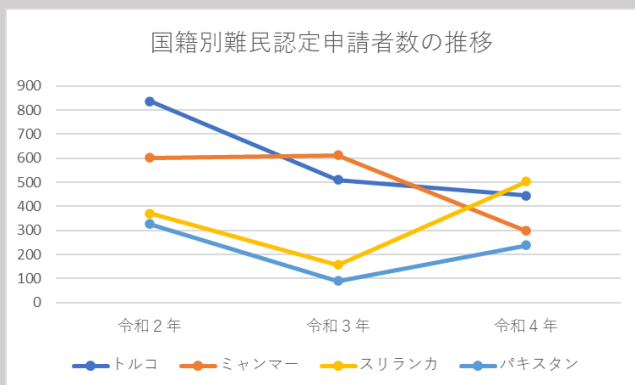
① 難民認定率の圧倒的低下

難民申請者数 **3772** 人（2022 年）

→ 認定 **202** 人。

認定率 **5.3%**

（出入国在留管理庁による）



外務省出入国在留管理庁「令和4年における難民認定者数等について」より作成。

② 難民認定制度の成り立ち

“難民認定機関“ではなく、
「**入国管理**」（不適正な目的でやってくる外国人を取り締まる）を担当する**出入国在留管理局**が難民認定手続きを行っている。

● 映画の主人公の「クルド人」とは？ 「**国家を持たない、世界最大の少数民族**」

→トルコ・シリア・イラン・イラクの4か国にまたがる。

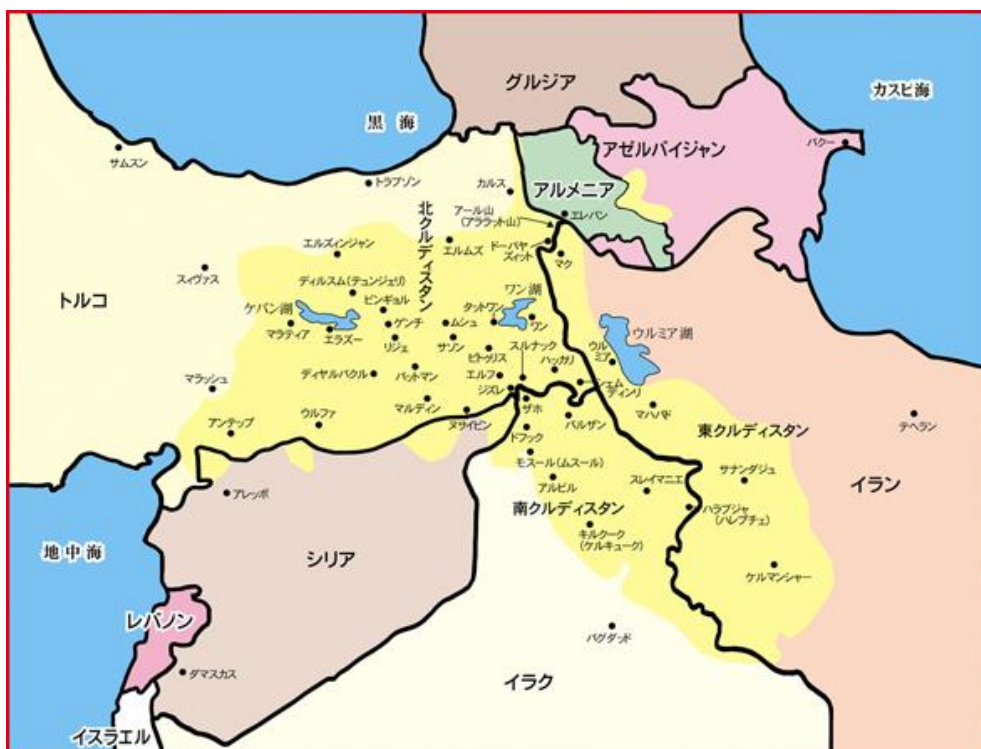
人口：2,500万～3,000万人ほど

*シリア内戦に巻き込まれ、紛争・暴力・迫害により移動を強いられている。

● 日本にやってくるクルド難民

日本とトルコは友好国であるため、「査証(ビザ)免除協定」があり入国し易い。その一方で、出入国在留管理庁によると、今年の、トルコ国籍（クルド人を含む）の難民申請者は**445**人だったが、認定されたのは**1**人（札幌高裁で勝訴した人）だけだった。日本政府とトルコ政府が友好関係にあるからこそ、「トルコ政府から逃れてきた」クルド難民たちを保護することで、友好国としての関係に支障をきたす可能性を避けるため、日本政府はクルド難民を保護しようとしにくい。

【参考】クルド人の住む地域



問い合わせ先：

NPO 法人 RAFIQ 難民との共生ネットワーク

〒532-0002 大阪市

淀川区東三国四丁目 9-13

「OSAKA なんみんハウス」

TEL・FAX：06-6335-4440

Mail：

rafiqtomodati@yahoo.co.jp